

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		環境測定				所管	環境清掃部	
							環境課	
事務事業の概要	行政計画	あり	事業NO.	95	計画事業名	環境測定		
	長期総合計画体系	[基本目標] II-2. うるおいのある生活環境づくり					事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (1)快適で美しい生活環境の創出					[事業開始] 昭和 4 4 年度	
		[施 策] ① 生活環境・自然環境の保全 [36]					[終了予定] - 年度	
	根拠法令等	その他		[法令等名]	環境基本法、大気汚染防止法、水質汚濁防止法、騒音規制法、振動規制法、放射性物質汚染対処特別措置法等			
	事業対象	一般区民						
	事業目的	区内の環境(大気汚染・騒音・振動等)を継続的な測定・調査により的確に把握し、環境保全の施策の基礎資料とする。また、得られたデータを基に区民に対して環境保全に対する意識の普及・啓発を図る。						
	事業内容	①大気汚染常時測定(SPM, OX, NOX, 温度) ②主要交差点窒素酸化物調査(入谷、蔵前・駒形橋西詰交差点) ③区民環境調査(区民参加の水質調査等を実施) ④主要幹線道路沿道の騒音・振動調査及び自動車騒音常時監視(年1回3地点実施)						
委託の有無	一部委託		委託内容	測定機器のメンテナンス、一部測定業務				
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)		目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	調査日数(延べ日数) 日		418	419	418	418	
	成果指標	大気環境基準の達成状況(SPM, OX, NO2)		改善	OX以外は達成	OX以外は達成	OX以外は達成	
	決算額 (単位：千円)				6,415	13,093	8,012	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト(人件費など)			4,794	7,841	8,223	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			5,871	8,358	4,893	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			545	1,893	10	
		総経費			11,210	18,092	13,126	
財源項目 (単位：千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	2,843	585		
	一般財源(区負担額)			11,210	15,249	12,541		
前年度から改善した事項		仕様書を見直し、委託業務の経費削減を図った。						
評価の視点		評価	評価の理由					
	必要性	3	近年、PM2. 5等の大気汚染への区民の関心が高まっている。区内の大気汚染の現況を長期的に把握するために環境大気常時測定を行うとともに、自動車排気ガスの汚染の影響を把握するために交通量の多い主要交差点での窒素酸化物調査も併せて行っている。測定値は、環境基本計画等の指標としている。					
	効率性	3	測定については、仕様書を見直したことによりコストの削減を図った。測定項目については、国や都の状況を見ながら、今後も検討していく。					
	手段の適切性	3	測定機器は、高額のものが多い。高度な技術が必要であるもの、委託した方が安価である調査等は、委託により実施している。					
	目的達成度	3	「光化学オキシダント」では、昨年度においても環境基準未達成。光化学スモッグ対策として広域的な対策が必要であることから、国や都によるVOC排出抑制の課題が明らかになっている。					
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性		
大気汚染常時測定は、法の規定で都が行っており、区内には大関横丁に自動車排出ガス測定局がある。しかし、PM2. 5等の区民の関心が高いものについては、広域的な問題もあるため、都や他区と連携しながら、今後のあり方について考えていく必要がある。						維持	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	